



# もせうし



教育目標：○心身ともに健康な子 ○よく学び、深く考える子 ○明るく、心豊かな子

妹背牛小学校

学校だより No.9



平成27年9月30日 発行

## 天高く伸びてゆく子らは背筋のぶ

校長 柳谷直明

結実の秋を迎え、作物の実りが嬉しい季節になりました。妹背牛は災害に見舞われず、日々感謝しているところです。平穏が何より、有難いものです。

さて、小学校も上半期を過ぎて、豊かな成果を実感している毎日です。妹背牛の素直な子供たちは先生方の指導をよく聴き、地域の皆様に支えられながら大きく育っています。先日25日は3・4・5年生が稲刈りを行い、働く大切さや喜びを教えてくださいました。育ててくださる方がいて、おいしくいただくことができると学んでいました。

今年は学校改善の成果に溢れ、実に豊かです。前号でも触れましたが、4月に実施した全国学力・学習状況調査では、6年生が大健闘しました。詳しく数値公表はしませんが、国語A・算数A（主として「知識」）、国語B・算数B（主として活用）、理科の全て全国平均以上の成績でした。全道平均は全国平均未満だったので、妹背牛小は全道の中で上位でしょう。宿題をきちんとやっているとか、更に宿題以外に自学自習をやっているなど、真面目で素直な妹背牛の子供たちはぐんぐん伸びています。優秀な子供たちです。

松下幸之助氏はこう言われています。「お互いが素直な心になれば、みんなが幸せになります。」素直さは大切です。素直な心での他者貢献は自らの幸せを招きます。

妹背牛小の子供たちは全校朝会での私の話を真剣に聴いてくれます。ごみ一つない学校を目指そうと呼び掛けると、児童会がごみ拾い運動をしてくれます。全員が宝！全員に良いところがあると自信を持ってほしいと言い続けると、アンケートでの自尊感情が高まりました。いじめは絶対にいけないと話すと全員がいじめはいけないと回答しています。子供たちの意識は昨年度から激変しました。話を素直に聴く子供たちだからこそです。

宿泊学習へ行った5年生は自分たちが持ち込んだおやつのごみを持ち帰ったそうです。なんとすてきな子供たちでしょうか。我々大人が見習わなくてはいけない美しい心です。下級生の面倒もよく見てくれている優しい5年生です。徳力が育っている証拠です。



4年生の公開授業を参観すると、「描写」という難しい言葉を発表している姿が頼もしかったです。戦争へ行く父の気持ちを想像して、我が子ゆみ子への手紙を全員が書いていました。以前、旭川でお会いした今西祐行氏もこの授業を参観したら喜んでくれたらうなと思いつつ、参観しました。（校長室にサインを飾っています。）

3年生は「郷土妹背牛」の学習をがんばっています。調査内容をテレビに映して、堂々と発表していました。12月の「郷土妹背牛」科発表会も楽しみです。妹背牛の地名からアイヌ語を調べたり、土器の調査を行ったりしています。

今後、ムックリ体験も予定しています。ムックリを鳴らしながら、アイヌ文化を想像させます。社会科で学ばない地域の良さをたくさん学び、郷土愛を育ててもらいたいです。

2年生は教科書巻末での漢字学習を進めています。習っていない漢字も自学自習すると、漢字を覚える力が育ちます。それには、教科書巻末での学習が効果的です。習っていない漢字を黒板で見せれば、子供の語彙が増え学力が更に向上します。ただし、漢字を書かせるためではなく、目に触れさせて形を覚えさせる認識力や語彙力を育てる目的です。

全校的な漢字学習の系統化も今年度の研修の課題の一つとして取り組んでいます。

1年生はかかし作りに挑戦しています。子供獅子舞に6年生が新しく参加したり、郷土クラブやお祭りなどの地域や社会教育の行事に進んで参加する素直な子供たちです。自分に自信を持たせるには、まず郷土に誇りを持たせ、そして、自分の価値を再認識させるのが有効です。地域の行事に参加し、地域や自分のよさを更に知ってもらいます。

まだまだ書き切れない多くの実りは皆様の御支援の下、全児童・全職員の努力の成果です。10月17日の学習発表会／11月4日の道徳公開授業・命の授業・薬物乱用防止教室・いじめ根絶集会／12月の参観日や「郷土妹背牛」科発表会へ全町民の皆様に御来校いただきたいです。妹背牛の宝の子供たち・優秀な職員を励ましてください。お待ちしております。

P T A秋の環境整備は残念ながら雨天のため、10月22日に延期になりました。今年度は学習発表会前に町で落ち葉を片づけてくださる予定です。22日には、畑や花壇の整備、敷地内の松ぼっくりやごみ拾い、雑草取りをお願いできると有難いです。美しい環境の下、子供たちの美しい心は育ちます。美しい苗は真っ直ぐ伸びます。御家庭でも、挨拶をさせる、玄関の靴を揃えさせる、部屋を片付けさせるなどの良い習慣を育てていきましょう。

一昨年まで使用していたグラウンドの除草剤は今年度も使用しないとP T A役員会で確認されました。除草剤散布の御厚意は有難いのですが、少しでも安全・安心な学校づくりへと努力していますので、未使用に対して御理解いただけ、感謝しています。

## 全国学力・学習状況調査の結果公表を受けて



今年度の全国学力・学習状況調査の結果が、8月26日に公表されました。

4月21日に6年生を対象に実施されたものです。本校では、8月の公表前から、調査当日に自校採点を行い、校内特別委員会で分析し、全学年の授業改善に役立てています。国語A・B・算数A・B・理科の全て全国以上でした。特に、算数Aは全国を大きく上回っています。都道府県の平均数値と比較すると、本校の平均は全国でも上位でした。

毎日の授業の工夫、全校で統一した朝学習の取り組み（計算・書く活動・読書）、家庭学習など、学校と家庭との連携した取組の成果です。昨年度との比較では、国語・算数A問題、国語B問題の正答率が向上しています。算数Bは昨年同様、全国平均を上回りました。理科は応用的な問題が多い中、健闘しています。答えを全く書かないという「無回答」が減っています。記述問題では、「鉤」の有無、書き出しの場所、「何字以上」と指定されたときに最低必要な文字数など、答え方を守って記述出来るようになっていきます。読み取った内容を文章で書く記述力です。毎時間の授業で書く活動を取り入れています。御家庭でも、少しずつ書かせてください。

今後更に育成したい能力は『文章はもとより、図やグラフから情報を読み取る能力』『何を問われているのかを明確に理解する能力』『答え方の条件を満たして、答える能力』の3点です。学習活動や学習課題などの授業改善で、日常の言語能力を充実させる取り組みに努力していきます。

児童質問紙では、「自分には、よいところがある」という自尊感情に関わる項目について、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」とした子が94.4%でした。これは全道の73.1%、全国の76.4%を大きく上回っています。本校で行っている児童アンケートにおいても、「全然無い・どちらかという」と無いとされた子が4月の14人から7月の11人へと減りました。良いところを褒めて自信を持たせる等の取り組みの成果です。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ている・～起きている」に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」とした子は全国とほぼ同様でした。本校は低学年の睡眠時間が不足のようです。低学年10・中学年9・高学年8時間を目安として、睡眠時間を確保させましょう。また「平日にテレビ等を見る時間」については、4時間以上とした子は27.8%。これは全道の22.0%、全国の19.2%を上回っています。年々4時間以上と答える児童は減っています。更に、メディアに触れる時間を減らし、家庭学習等を充実させましょう。基本的な生活習慣の改善を協力して取り組んでいきましょう。

## 今後の具体的な取り組み



### 【日常的な授業改善】

- 発達段階に応じた学習規律や学習ルールの定着に組織的に取り組んでいます。学校として統一した「基本的な学習のきまり」を学級に掲示しています。更に、指導していきます。
- 国語科における言語活動を系統的に指導するためカリキュラムを改善し、関連付けて各教科における言語活動の充実を更に図ります。
- 既習の漢字を日常的に使用するとともに、文字を丁寧に書くよう更に指導します。
- 条件・制限に基づいて、書いたり話したりする活動を更に増やしていきます。
- 「比較させる」学習を更に充実させます。(2つの文章を比べて読む、自分の考えと比べて読む、友達の意見を比べる、自分の考えと友達の意見を比べるなど)。

### 【国語科における授業改善】

- 1年生「インタビュー」、3年生「ポスター・セッション」、5年生「パネル・ディスカッション」をカリキュラムに位置付けました。それらを2・4・6年生の各教科等で活用させます。
- 具体的な指導事項、「学習用語」を系統的に指導し、言語活動をより充実させます。
- 未習漢字を積極的に板書し、子供の目に触れさせ、更に語彙を増やさせます。
- 30字、60字、100字、120字、200字など、様々な字数のワークシートや原稿用紙を準備し、書く活動において更に活用します。
- 主語と述語の関係など、文の関係など、文の繋がりが分かり易いか、学習した漢字を正しく使っているかなど書いたものを振り返り、よりよい表現に書き直す習慣を更に育てます。
- 文を書く上で必要な方法を国語教科書の表記に基づいて適切に指導し、更に定着させます。
- 国語辞典や漢字辞典を積極的に利用できるような、環境や機会を更に充実させます。
- 一度習得したことも日が経てば忘れるので、忘れさせない反復指導を工夫します。

### 【算数科における授業改善】

- 子供たちの理解の度合いに合わせた授業展開に基づく授業を更に行います。
- 考えたことをノートに記述させるなど、言葉や数、式などで表す方法を更に指導します。
- 考えたことを書いたノートをもとにして、友達と説明し合う交流場面を更に設定します。
- 指導内容が児童に身に付いているかどうかを確かめ、繰り返し指導を更に行います。
- 可能な限り複数で実施し、TTによる個別指導や習熟度による少人数指導を更に行います。
- 四則演算の計算練習を全学級で朝学習に位置づけて、継続して取り組み、基礎的・基本的な計算力の定着と向上を更に図ります。

子供の成長は保護者や地域の皆様の御協力の賜物です。学力、体力、徳力のいずれも学校と家庭と地域がますます連携し、子供たちの健やかな成長のため、今後とも努力していきましょう。

## 9月24日、公開研究会を開催しました！

3年次計画3年目の校内重点研究に関わる公開研究会を開催しました。当日は、空知教育局指導主事の藤本博先生を始め、多くの先生方に御参観いただきました。本校では、これまで全国学力・学習状況調査分析の結果、提示された条件を満たして記述する問題等に課題があることが明らかでした。更に、話したり書いたりする表現力に課題がありました。そこで、国語科を切り口として、ここ3年間、表現力を高める研究に取り組んできました。



